

毎月5日は「いすみ市民防災の日」

# わが家の防災マップを作ってみよう！

実際にまちを歩いて「防災マップ」を作ると、災害がおきた場合に「あそこは危険」とか、「避難のときはあの道を通ろう」といった具体的なイメージをすることができます。災害時に家族全員が安全に避難できるよう、皆さんで楽しみながら防災マップを作成してみてくださいはいかがでしょうか。

## ①地図を用意しよう



市で発行している「津波緊急避難地マップ」を活用しましょう。ホームページからダウンロードすることもできます。

## ②自宅と避難する場所に印をつけよう

※津波緊急避難場所と避難所の違い

津波緊急避難場所は、津波警報等が発表または津波襲来が予想されるとき、生命の安全を確保するため一時的に避難する場所。避難所は警報等が解除されたあと、一定期間避難する生活の拠点となる場所です。

## ④避難経路を歩いてみよう

危険箇所や災害時に役立つ場所（消火栓・防火水そうなど）の色分けやマーキングをしたり、写真を撮っておくことも効果的です。

## ③避難経路に色をつけよう

いくつかルートを想定してみましょう。

1. 最短のルート
2. 広い道を通るルート
3. 危険箇所が少ないルートなど

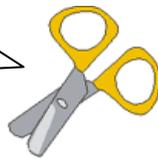


## ⑤避難経路を見直そう

安全と考えたルートも、実際に点検してみると、危ないところがたくさんあるかもしれません。その時は、新しいルートを考えてみましょう。



いつも身につけていよう！  
コピーして、  
家族みんなで使ってね。



問い合わせ  
いすみ市役所総務部危機管理課  
TEL 62-2000

「ゆれたらにげる より遠くへ より高台へ」

切り取り線



●住所

.....

●氏名

.....

●生年月日

.....

●性別

.....

●血液型

.....

山折り線

●緊急連絡先（電話番号）

.....

●津波緊急避難場所

.....

●避難所

.....